



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL.079-454-1447

2月になって、いよいよ本格的な受験シーズンの到来です。まだまだ寒い日が続きますが、風邪やインフルエンザに負けないように、体調管理をしっかりと毎日過ごしてくださいね。

(YNS/PIXTA)



だれでも分かる

教育情報
&
ニュース

Happy

Valentine's Day



(yoshi / PIXTA)

「春一番」って、どんな風？

2月に入ると、よく天気予報で耳にする「春一番」。気象庁では、立春（2月4日頃）から春分（3月21日頃）までの期間、日本海で低気圧が発達し、広い範囲で初めて吹く、暖かく強い南寄りの風（8m/s以上）と定義し、北日本と沖縄を除く地域で発表しています。この条件を満たさないと春一番とは呼ばないために、春一番が吹かない年もあります。

春一番が吹くと南側から風が吹くことで気温が上がり、日本海側にあった温帯低気圧が西に移動することで、翌日には気温が下がります。このように暖かくなった後、寒冷前線の通過により気温が下がる現象を「寒の戻り」と言います。

春一番は春の訪れを感じさせる一方で、海難事故や鉄道の運行、航空機の欠航など、生活に大きな影響を与える風なので注意する必要があります。

子どもの体力が大幅に低下 全国体力テスト

スポーツ庁は、小学5年と中学2年の2019年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（全国体力テスト）の結果を公表しました。それぞれの種目の成績を点数化した「体力合計点」が男女とも大幅に低下し、特に小5男子は2008年の調査開始以来過去最低、中2男子も過去5年で最低となりました。種目別に見ると、特に「20mシャトルラン」「持久走」「50m走」で大きな低下が見られました。生活習慣の面では、朝食を「食べない日もある」と回答した小学生が男女ともに増加しました。またスマートフォンなどによる映像の視聴時間と体力合計点を比較すると、小中学生ともに増加しており、特に男子が長時間化しています。そして男女とも視聴時間が3時間以上のグループの体力合計点は全国の平均値より低いという結果が出ました。

地質時代に初日本名「チバニアン」

地球の歴史のうち、約77万年前～12万年前の地質時代の名前が、国際会議で「チバニアン」に決定しました。チバニアンはラテン語で「千葉時代」という意味を表します。千葉県市原市にある「千葉セクション」と呼ばれる地層には、77万年前に地球の磁場（N極とS極）が入り替わる地磁気の逆転が起きたことがはっきりと示されています。そのため、その地質時代を代表する名前として、認められたのです。

地層の分析などによる地質時代は117に分けられていて、日本の地層が国際的な基準に登録されるのは初めてのことです。今後、高校の地学の教科書にも「チバニアン」が記載されることになりそうです。



▶千葉セクション (写真 小野真志/PIXTA)



開幕まで約半年までにせまった東京オリンピック・パラリンピック。東京では、かつて1964年にオリンピックが行われています。今回は、前回に行われたオリンピックとさまざまな角度から比べてみます。

	第18回オリンピック (1964年)	第32回オリンピック (2020年)
①大会期間	1964年10月10日～10月24日 (15日間)	2020年7月24日～8月9日 (17日間)
②競技数/種目	20競技163種目	33競技321種目
③参加国(地域)数	93	206 (予定)

①大会期間

1964年に行われる大会に比べて、2020年の大会のほうが2日間長く行われます。1964年に行われた東京オリンピックは、日本、そしてアジアで初めて開催されたオリンピックです。東京オリンピックの開催日となった10月10日は、後に「体育の日」として国民の祝日に指定されました。現在では10月第2月曜日に変更され、今年2020年には「スポーツの日」と名称も変わります。(2020年のみ、7月24日が「スポーツの日」になります。)

②競技数/種目

1964年大会の競技数は20でした。今ではなじみのあるバドミントンやテニス、ラグビーなどは、1964年大会の時は正式種目ではありませんでした。また、水泳やバスケットボール、サッカーなどは、男子しか参加できない競技でした。約半世紀の間に種目も多様化したのです。2020年大会では、オリンピック史上初の競技として、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンが新たな種目として追加されます。野球、ソフトボールは2008年北京オリンピック以降行われていませんでしたが、2020年の東京オリンピックでは復活します。



バドミントンが正式種目になったのは1992年バルセロナ大会から。



そのほか、柔道やレスリングなども、かつては男子のみの競技でした。



③参加国(地域)数

国連加盟国の数は、1964年時点の115か国から、2019年現在193か国と78か国も増加しており、世界の独立国の数が大幅に増えたことを意味します。また、1964年のオリンピック参加数は約5500名以上でしたが、2020年大会では、1万2000人以上を予定しています。どのような大会になるか楽しみです。(master1305, CallMeTak / PIXTA)

オリンピックと技術革新

東海道新幹線や東京モノレール、東名高速道路は1964年大会の開催に合わせて開通されました。

また、1964年大会では、コンピューターを使用してほぼリアルタイムで記録や情報の収集が可能になりました。それまでは記録をまとめるのに約1か月かかっていた。

開会式と閉会式で違う国名

オリンピック史上、唯一開会式と閉会式で国名が違ったという出来事が1964年の大会でありました。それはアフリカ南部にあるザンビアです。開会式の時、イギリスの保護領「北ローデシア」として参加しましたが、閉会式当日の10月24日に独立し「ザンビア」となり、独立国として閉会式に参加しました。